

(令和2年7月試験研究業務月報)

試験研究課題名：アズキ機械化栽培での難防除雑草の総合防除体系の確立

研 究

外来ホオズキ類防除技術の確立を目指して

京都府のアズキ栽培ほ場では、難防除雑草である外来ホオズキ類が増加しており、近年問題となっています。アズキの生育抑制や汚粒の発生など、収量及び品質が低下することから、生産現場からは効果的な防除体系の確立が求められています。

そこで当センターでは、防除体系の一つとして外来ホオズキ類に効果が期待される新規除草剤の効果について検討しています。

今年の7月は平年に比べ降雨日数が多い中、20日にアズキのは種、22日に慣行除草剤の処理、31日に新規除草剤の処理を行いました。

今後、薬害の有無や程度、雑草の発生量や収量の調査を通じて、効果の確認を行い、防除体系を確立します。



アズキは種の様子（7月20日）



外来ホオズキ類に効果が期待される
除草剤散布の様子（7月31日）